

| 質問の件名及び質問の要旨（質問時間） | 答弁を求める者 |
|---|---------|
| <p>1 防災対策のさらなる充実に向けて（25分）</p> <p>最大震度7を観測した能登半島地震で被災した多くの方々におお悔やみとお見舞いを申し上げ、そして今なお支援を続ける官民の皆様から敬意を表します。この震災と被災に対する解析には時間を要しますが、今ここにおいて本市としても、現状の防災対策を見直し、さらなる充実に向けて再確認する必要があると考えます。</p> <p>本市では、鶴ヶ島市地域防災計画を策定し、防災対策の柱としています。第6次鶴ヶ島市総合計画においても、政策4の施策18で防災対策の充実の必要性が示されています。その中で、地域防災体制の「公助」を図り、市民、地域とともに「自助」、「共助」の意識を高めることによって、災害に強いまちを目指すとしています。また、現状と課題については、住民自らの応急活動ができる防災体制の充実と、災害に対する市民意識の醸成や高揚が掲げられています。</p> <p>一方、能登半島地震では、いまだに水道、電気、交通網などのライフライン、インフラの回復、また、避難所、避難者住居などが課題となっています。そのために、県や自治体の日頃からの大震災に対する備えの妥当性も議論になり、災害時の「公助」以前に、備えの重要性が明らかになったと思います。石川県は、石川県地域防災計画（地震災害対策編、沿革 昭和38年11月5日作成、令和5年修正、石川県防災会議）では、過去の地震と被害を詳細に解析し、今後も震度7クラスの地震発生の可能性に基づいたものとなっています。津波、地震火災、緊急避難道路、避難所、自主防災組織など今まさに問題になっている事柄がこの計画書の中で議論されています。それでもこれだけの被災に至ったのは、人知を超え、想定を超える自然災害の恐ろしさを表しているものと考えます。</p> <p>能登半島地震の報に触れ、本市において、大災害の想定、備え、いざ被災した場合の、「公助」、「共助」、「自助」に対して、私たちが今一度見直し、確認が必要だと考えます。重要な経営要素に人・物・金・情報があると言われるますが、人として私たち自身の地震に対する意識、自治会を中心とした支え合うコミュニティ、自主防災組織の能力、避難所運営能力、物として、公共インフラ、道路、水道、建物の耐震化は十分でしょうか。情報として地震地質学や、</p> | 市長 |

| 質問の件名及び質問の要旨（質問時間） | 答弁を求める者 |
|---|-----------|
| <p>防災知識に対する最新情報など再点検する必要があると思います。</p> <p>今後、さらに防災対策、体制の充実を図り、災害に強い鶴ヶ島をつくるために、以下質問いたします。</p> <p>(1) 時期、規模、市内での地域性などを踏まえた想定する災害について</p> <p>(2) 災害を想定したインフラ整備について</p> <p>(3) 公助の充実について</p> <p>(4) 共助の充実について</p> <p>(5) 自助の充実について</p> <p>2 高齢者とともに活気のある鶴ヶ島を目指して (20分)</p> <p>第6次鶴ヶ島市総合基本計画の重点戦略2で、「いつまでも健康でいられるまちづくり」を目指しています。政策3の「いきいきと暮らせるまち（保健）」の中で、施策11で「健康づくりの推進」、施策13で「高齢者が安心できる生活の支援」が掲げられています。</p> <p>本市の65歳以上の老年人口は、2002年で6,717人、2022年で20,339人となっており、高齢化率はそれぞれ9.9%、29%と3倍に急増しています（資料：埼玉県町(丁)字別人口調査）。これまでは人口は約7万人で横ばいです。そして2050年には39%（人口58,252人）と予想されています（資料：日本の市町村別将来推計人口（令和5年推計））。</p> <p>本市では、本年6月にオープンするガーデンパークにおいても、ウォーキングやラジオ体操等の運動をはじめ、介護予防・フレイル予防等に関連する事業の実施場所として積極的に活用されることが期待されています。</p> <p>この地に限らず市内全域で、高齢者の健康増進と、活発な社会参加を後押しすることは、高齢者だけでなく、他の世代、そして鶴ヶ島そのものの活性化につながると考えます。</p> <p>これまでの高齢者へのしっかりした取組がさらに充実したものとなることを期待して、以下の項目の推進状況と今後の方針について質問いたします。</p> | <p>市長</p> |

| 質問の件名及び質問の要旨（質問時間） | 答弁を求める者 |
|--|-------------------------|
| <p>(1) 地域と連携したラジオ体操、ウォーキングなど健康づくり事業の推進について</p> <p>(2) 介護・フレイル予防の推進体制の整備について</p> <p>(3) ユニバーサルデザインに配慮した歩道の整備について</p> <p>(4) つるバス・つるワゴンの利便性の向上について</p> <p>(5) 新南市民センター建設が予定される中で、地域の中での交流・集いの場の拡充について</p> <p>3 脚折雨乞での鶴ヶ島の魅力の発信について (15分)</p> <p>本年8月4日に雷電池にて脚折雨乞が開催されます。36m、3tもなる巨大な龍蛇が、龍神となり白鬚神社から雷電池まで勇壮に練り歩く姿は圧巻です。4年に一度オリンピックの年に、また今年は辰年にもあたり、多くの人々で賑わうことを期待します。この本市の貴重な国選択無形民俗文化財を市外、いや海外の観光客にも見ていただきたいものです。</p> <p>現在、本市が取り組むシティプロモーションのテーマとしては打って付けのものであり、しっかりと広報活動を行い、本市の魅力の一つとして知名度を上げ、シティプロモーション技法の向上につなぐことを期待し、以下質問いたします。</p> <p>(1) 脚折雨乞のシティプロモーションの現状と予定について</p> <p>(2) シティプロモーション活動の推進に向けた取組について</p> | <p>市 長 教育委員会教育長</p> |